

2010年度 第3回 理事会 報告概要

日時；2011年1月9日（日）9：00～10：50

会場；大阪ガーデンパレス

会長挨拶：就任後4年の間「日本の社会福祉はこれでいいのか」をテーマに、社会福祉提言委員会、市民活動支援委員会および歴史研究委員会を発足、東京・大阪でのセミナーの開催得て今日まで歩んできた。福祉実践についての歴史を振り返る意義は、将来への対応の糧ともなり前回、今回の歴史セミナーの開催となった。あわせて、今後のJASW運営上において他団体・協議会等との数々の会議・打ち合わせに対応する本部スタッフの増員を、また各委員会活動の充実を計る事、各地方協会・支部の積極的な活動—最低でもセミナーの開催を切望する。

協議事項

1. APC21会議開催について

協賛金（寄附金）募集、JASWのオークションの担当：企画運営、発表演題募集について説明と協議。寄附金について現行の募集方法は漠然としているのでJASWの具体的な目標額を設定し、会員、各支部協会に要請することとし、100万円を目標とし会長名のお願い書を2月号会報に封入する。オークション関連、演題募集は国際委員会で討議・検討する。

2. 会員の入退会者承認

2010年9月～11月19日までの入会者7名、退会者5名（即時退会者1名、年度末退会者4名）を承認。

3. 2011年度年次総会京都大会について

会期；2011年5月14日（土）、15日（日）、会場；京都テレサ。大会プログラム；第1日目：①基調講演の岩間伸之氏（大阪市立大学）演題の副題「地域を基盤とするソーシャルワークの展開に向けて」。②ツアー「福祉史跡・事跡をめぐる旅」（4コース）第2日目：①シンポジウムでのシンポジストが交渉中。コーディネーターはJASWから。②大会申込等は業者（名鉄観光）が請負う。③当日の手伝いは大阪SW協会、京都ボランティア協会、同志社大学学生から応援うける。④同時間帯でツアー不参加者を対象としたワークショップ（ITを活用した福祉教材の開発と実際）の実施を企画。

4. 2012年度年次総会開催候補地の選定について

2012年は沖縄SW協会、2013年は神奈川県において開催を検討する。

5. 協会の将来像：協会活性化検討委員会からの提案

5つの切り口から説明。地方協会から具体的な提案を願うとの意見に対して、本部活動は大枠の方向性を示すことが中心で、むしろ地方協会が地域活動に会った具体的な活動をすること。沖縄SW協会の「ソーシャルワーカー養成講座」の活動が一例。また、組織活動として、委員会活動は年度方針の達成に向けて各委員会が有機的に活動する基本線に戻ることとし、常任理事会（4月16日予定）で更に検討した上、次回理事会に上程することとされた。（注）常任理事会開催日；4月17日（日）に変更（会

場予約の関係上))

6. 各種委員会のあり方について

「ソーシャルワーカー」編集委員会を新設、倫理委員会、市民活動支援委員会を廃止し各委員会へ機能を吸収する案に対し、更に常任理事会で検討した上で次回理事会に上程する。

7. 次期役員改選（5月）について

役員改選に伴う理事及び監事選出規定（内規）に一部改正提案；第3条（1）B 理事会選出理事、「その定数は11名以内とする」とあるのを⇒「その人数は、地方選出理事現員数との総和が理事定数30名の範囲内とする」と改定する。本規定を会員に周知徹底を図るために会報に掲載する。また、各地方協会に加入している人が、JASW 協会に加盟しているか否かを調査する。

8. 会員名簿作成について

名簿作成用アンケートの回収（2月末日）、4月1日発行予定。作成名簿は全国版とする。

9. その他

○ ポルシーペーパー翻訳本

翻訳完成本の披露。会員（但し年会費完納者対象）には2月号会報に同封送付。

○ 新年賀詞交歓会への出席

1月23日（日）アルカディア市谷での国会議員、所轄官庁役員、主催諸団体等の出席。多数の参加を期待。

報告事項

1. 会員現況報告

説明割愛された。（主な点：全会員数856名、2010年度年会費完納率76%。2月号会報に催促状同封予定。）

2. 2010年度収支予算執行状況

予算内執行状況にあること、一部交流会費から委員会費への付け替えがあること。

3. 社会福祉専門職団体協議会（社専協）について

APC21会議準進捗状況・・・協議事項1、のとおり。

4. ソーシャルケアサービス従事者研究協議会について

新春賀詞交歓会・・・協議事項9. その他のとおり。

7. 19 ソーシャルワーカーデーの総括・・・資料のとおりで説明は割愛された。